

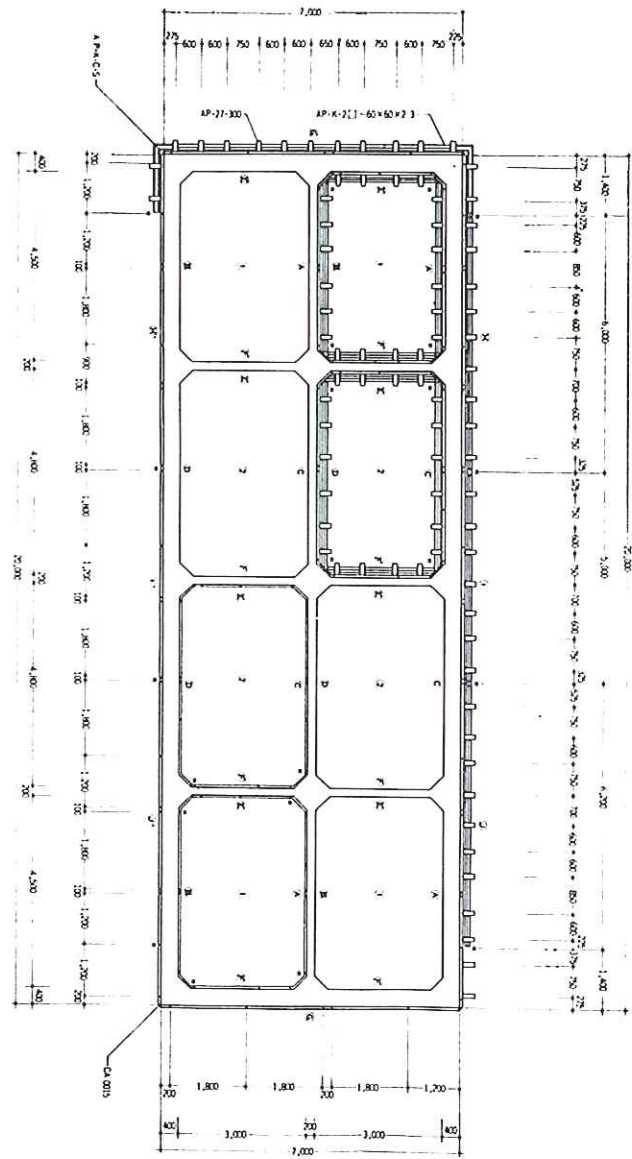
ビルトシャタリング(大型壁型枠工法)

大型壁型枠といえば、シャタリング

- ビルトシャタリングとは
在来工法のようにフォームタイを細かく、バタ材をその都度組み立てて、解体をするのではなく、型わくを大型化してその鋼性を高め、タイボルト16φを上下2段のみにし、コークリートを打設する工法です。タイボルトはスリーブ、プリコンを使い、コンクリート打設後引き抜き転用します。
- このシステムの特異性は
在来方法と異なり柱、壁、大梁立上り部分と床板、小梁部分のコンクリート打設を別々に行います。従って1階床面を2区分以上に分け型わくと投入人員数を最小限にし、その施工スピードと転用回数を上げて型枠の施工費を低減します。
- ビルトシャタリングの特長は
 1. 在来工法の1/2の労務者数で施工ができます。
 2. 在来工法より20~30%の工期の短縮がはかれます。
 3. 在来工法より10%型枠費が節減できます。
 4. 高精度の 体ができ壁紙じか仕上げ、サッシュ先付けができます。
 5. 設計段階より計画しますと総工費の2%の増益がはかれます。
- このシステム用途は

土木	{	ケーソン・ピアー・港湾施設
		護岸工事の擁壁・下水道・共同溝・地下壁・取水・放水路 防波堤・防油堤(トラベラー工法)
建築	{	マンション・事務所・ホテル
		公共集合住宅・原子力発電所

ケーソン図面



西独ヒューネバック社技術提携

